

消費動向調査（平成 30 年 3 月実施分）  
調査結果の要点

- ① 平成 30 年 3 月の消費者態度指数（二人以上の世帯、季節調整値）は、2 月と変わらず 44.3 となった。消費者態度指数を構成する 4 項目のうち、「収入の増え方」及び「暮らし向き」が前月から低下、「雇用環境」及び「耐久消費財の買い時判断」が前月から上昇した。
- ② 消費者態度指数の動きから見た 3 月の消費者マインドの基調判断は、足踏みがみられる。（据置き、前月から表現の変更なし。）

消費者態度指数（二人以上の世帯）の推移

		季節調整値	（前月差）
平成 30 年	1 月調査	44.6	(0.0)
	2 月調査	44.3	(▲0.3)
	3 月調査	44.3	(0.0)

※過去平均（昭和 57 年 6 月～平成 30 年 3 月）は 42.2。

- ③ 平成 30 年 3 月の 1 年後の物価に関する見通し（二人以上の世帯）は、「上昇する」が 2 か月連続で前月から減少、「低下する」が 2 か月ぶりに前月から減少、「変わらない」が 2 か月連続で前月から増加した。

消費者の物価予想については、「上昇する」と見込む割合が高水準である。

（据置き、前月から表現の変更なし。）

1 年後の物価の見通し（二人以上の世帯、原数値）（単位：％）

		低下する	変わらない	上昇する	分からない
平成 30 年	1 月調査	3.2	11.5	82.4	2.9
	2 月調査	4.0	11.8	81.3	2.9
	3 月調査	3.6	12.1	79.8	4.4

※「上昇する」と見込む割合の過去平均（平成 16 年 4 月～平成 30 年 3 月）は 66.3%。

「低下する」と見込む割合の過去平均（同）は 6.9%。